

報 告 書

2021年 3月 31日

活動実施団体名 葛西臨海水族園
責任者名 天野未知
報告書作成者名 田中隼人

1. 活動の名称 (タイトル・テーマなど)

高校生・大学生向け講座「海の学び舎」 Researchers of Aquarium－水族園の研究活動－
第2回「執念のメンダコ研究」
講師：小味 亮介 (葛西臨海水族園 飼育展示係)

2. 実施日

令和2年 12月 20日 10時 00分～12時 00分

3. 実施場所

ウェブ会議サービス「Zoom」を使ったオンライン講義形式

4. プログラム等

時間	実施内容	camera
0940	Zoom 受付開始	
1000	開始 趣旨説明・講師紹介	ビデオカメラ
1010	講師自己紹介	PC カメラ
1020	質疑応答	ビデオカメラ
1030	講演	ビデオカメラ
1110	質疑応答タイム・アンケート・次回のお知らせ	ビデオカメラ
1230	終了	

5. 対象・参加人数

高校生・大学生 (大学院生含む)

106名 (参加申し込みは137名)

高校 15名、大学 63名、修士 5名、博士 2名、専門 1名、中学 3名、3歳児 1名

6. 活動の内容・状況・感想

葛西臨海水族園で行われている研究活動のうちメンダコの研究を紹介した。深海生物として大人気のメンダコ。深海にすんでいるため生態はほとんどわかっておらず、飼育も難しい生き物でもある。今回は、飼育に挑戦するなかでわかってきたメンダコの生態や、孵化稚仔も含めた飼育の

工夫などについて、写真や動画を交えて紹介した。また、高校生・大学生の進路選択のヒントとなるように水族園で働くに至った履歴などを話した。

自己紹介をインタビュー形式の掛け合いにしたことで演者の人となり伝わりやすくなったと感じた。また、準備していたメンダコの液浸標本を質問に対する解説に活用できた。

参加者の感想（一部抜粋）

・生態の大部分がまだわかっていない生物の研究の難しさや深海の生物の不思議な生態や行動について知ることができ、とても興味深い内容でした。深海の生物への興味がより一層深まるとともに、また機会があれば、是非この講座への参加をしたいと思います。

・飼育下における野生生物(家畜以外)の繁殖に興味があったので、今回の話はとても勉強になりました。大学の動物園学の講義では、あまり水族館について知ることができないので貴重なお話をきかせていただけて感謝しています。今回のお話の中で、飼育に適した環境と展示に適した環境が異なることで、ライブカメラで配信するという工夫をされていたということがとくに印象に残っています。

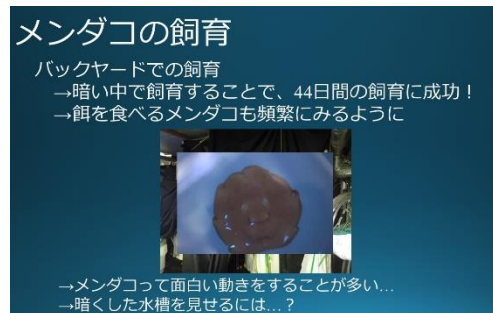
・かわいくて水族館で見たいのですが、まだ飼育が難しそうで、生態の研究が進んで安心して生育されるようになるといいなと思います。時々、このような機会に研究の成果を一般に知らせていただけると嬉しいです。皆さんの質問も勉強になりました。

・そもそも水族館職員が研究を行うこと自体自分自身には未知の感覚であったことから驚きましたが、水族館職員がそのようなことを行うことで日頃の飼育も研究に役立つと考えると非常に素晴らしいことなんだと感じました。

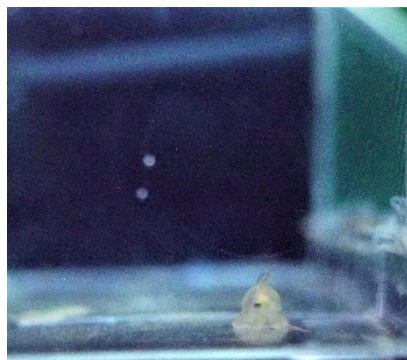
7. 写真



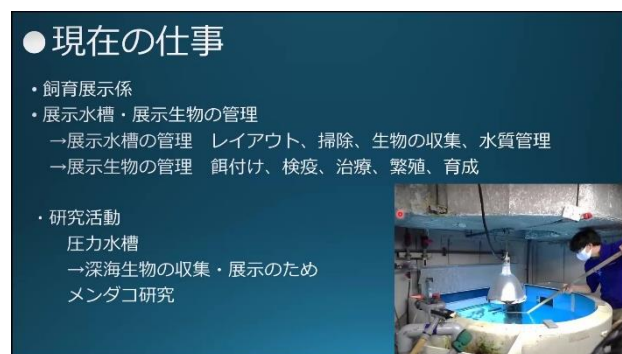
メンダコ（成体）



発表の様子 1



メンダコ（孵化稚仔）



発表の様子 2